

平成二十二年 度

和歌山県立中学校  
(桐蔭中学校)

作文

(十一時十五分～十二時)

(注意)

- 一 「はじめ」の合図があるまで、開いてはいけません。
- 二 「はじめ」の合図があったら、まず、受検番号をこの冊子と原稿用紙（しゅう）の二か所に記入しなさい。
- 三 作文は冊子の中にある原稿用紙に書きなさい。
- 四 印刷が悪くてわからないときや筆記用具を落としたときなどは、だまって手を挙げなさい。
- 五 時間内に書き終わっても、そのまま着席していなさい。
- 六 「やめ」の合図があったら、すぐに書くのをやめ、二枚重ねて置きなさい。

受検番号

【一】 次の文章を読んで、あとの問いにしたがって作文を書きなさい。

みどりさん



四字熟語じゅうくごやことわざについて学習した時、先生は、「四字熟語やことわざは、短い言葉の中によりよく生きるための知恵ちえがたまっている。」と教えてくれたね。みんなでたくさんの言葉を調べて楽しかったわ。

あきらさん



そうだね。ぼくが調べた四字熟語「切磋琢磨せつさたくま」は、少し難しい言葉だけれど、「自分の力を高めようと努力し、互たがいに競い合って向上する」という意味だよ。ぼくは、この「切磋琢磨」が一番印象に残っているんだ。

みどりさん



わたしは、「三人寄れば文殊もんじゆの知恵」ということわざが心に残っているわ。これは「知識や経験の少ないことからについて一人で考え悩なやんでいるより、みんなと相談すれば一人では思いつかないようなよい知恵が浮かぶ」という意味よ。

【問い】 右の文章を読んで、四字熟語「切磋琢磨」と、ことわざ「三人寄れば文殊の知

恵」を使い、これまでの体験を入れて、これからの生活についてあなたの考えを六〇〇字程度で書きなさい。